

弘前市大沢

小田桐

ひゅうが  
陽雅くん(0歳5ヵ月)

小田桐 僚さん・真子さん 夫妻の子供  
組合員名：小田桐 三右衛門さん

津軽みらいの  
わらしこ

どのような、お子さんですか？

元気いっぱい

チャームポイント

えくぼ

お気に入り

鏡に写った自分の顔

ご家族からお子さんへ一言

優しく元気いっぱいな子になってね！



文芸の広場

短歌

尻取りし百ハツで終わりにし  
頭の体操痴呆の予防

口が鈍くもうと口を開く  
生麦・生米・生卵と何度もくりかえす

人と逢えて顔を覚えても名前出さず  
笑顔で答えて後で思い出す

我々本山宇治の万福寺中国の  
総本山よりマスク4万届く

寝てからも手足動かして運動し  
明日の命繋がる様に

夕映えの真花な太陽日本海  
不老不死の秘境の温泉

不思議かな我々遺伝子の組違い  
背骨一本追加五度前へ傾く

葉も散りて黄色の絨氈敷き詰めて  
重乳根の幹の年輪を重ねて

「筆啓上・火の用心・おせん泣かすな  
馬肥やせ」今人肥ゆる秋

櫻庭きよ

年重ね足腰弱り農家仕事  
年には勝てぬと一人咬く

台風の進路予報に目を凝らし  
安堵と不安無言の時間

果物の美味しい季節巡り来し  
店頭に並ぶ色取り取りに

谷紅葉水の流れに彩重ね  
裂織りのことランブの宿場

古里のりんごを乗せて宅配便  
孫の電話に胸躍らせる

工藤キヌエ

新米の湯気の向こうに見える笑顔  
長き冬へどこころあたため

落葉踏み妻と会話を交わしつつ  
朝の散歩の息白き道

ハロウィンのオレンジ色が侵略の  
冬の色へと魔の手を伸ばす

酒の量多くないかと妻の目の  
敵しき玉子酒する音

小田慶喜

訪ねる里は静かに冬支度  
露天風呂ある小さな旅館

セーターを編みつつ考えることは  
色と模様の微妙な調和

新蕎麦を食べにゆきたいと思ふ  
最後の蕎麦湯までゆっくりと

勤労に感謝する日が一日と  
いへばさみしいせめて月いち

川柳  
常に一歩引いて世を見るはぐれ鳥  
ふるさとの湯けむり匂うこけし宿

山里の風もささやく触れ合い旅  
メイクよりコロナ恐れてマスクする

ラスト近しバツと出くるコマージュル  
最低の道徳守れぬ公文書

ウイルスのように増え続けるカタカナ語  
聞き上手人の心を和ませる

実習という名で増えるインバウンド  
米余り知らんふりして稲を刈る

秋祭り露店無しの祭りかな  
キノコ採り二度と帰らぬ人となり

腹いっぱい食べた寿し店敬老の日  
十五夜の月もコロナは敵わぬと

稲雀たちの会話が切れぬ里  
網焼を十匹釣って帰る道

白内障疑うような冬霞  
セーターが瘦せたぞ首が苦しいぞ

どんぐりのころころ分かるトタン屋根  
焚火へと近寄る噂話たち

カリフラワーブロッコリー舌を噛みそうね  
願い事ばかり聞いている冬の星

俳句  
ふるさとの刈田や風の振り返る  
日短も楽し読書の長き夜

散歩へと冬青空の誘ひ来る  
秋日和速回りして帰る道

じんはりと里包み込む雪の霧  
凧とダンス園児のあの笑顔

小田慶喜

小田和子

投稿される皆様へ  
短歌川柳など毎月の投稿ありがとうございます。  
クロスワードクイズ応募用紙と同じ住所へ投稿してください。JA津  
軽みらい文芸広場宛)また読みづらい漢字には必ずフリガナをお願い  
します。次回は1月に掲載となります。よろしくお願ひします。